競　技　注　意　事　項

1　競技規則について

本競技会は，2026 年度日本陸上競技連盟競技規則，本大会要項及び競技注意事項を適用する。

2　練習について

練習は第二陸上競技場及び競技役員の指定する場所において，競技役員の指示のもとに行う。競技役員の指示により練習や移動を行い，試合に影響がないよう十分注意すること。また、第二競技場において投てき種目が開催されるので安全確認を行いながら練習すること。

3　受付・開門と打ち合わせについて

受付は正面玄関で８時３０分より開始。開門も同じく８時３０分から競技場内の準備ができる。

※役員ブリーフィングは９時２０分目途に実施する。

(1)招集場は，雨天走路（南側サイドスダンド下）に設ける。すべてのフィールド競技においても招集所でコールを受ける。

(2)招集開始時刻と完了時刻は，当該種目の開始時刻を基準に，次の通りとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
ト　ラ　ッ　ク	３０分前	２０分前
フィールド（跳躍・投てき）	４０分前	３０分前

※「競技日程及び招集時間」に記載しているので確認すること。

(3)招集の手順（※従来の手順から変更しています）

＜トラック・フィールド競技＞

①競技者は，招集開始時間までに各種目別集合場所に座り，待機する。また，感染予防のため，短時間での集合・移動を徹底する。

②シューズの靴底の厚さの規定については，徳島陸上競技協会ホームページで確認すること。規定外シューズでの参加は認めない。（規定違反のシューズで出場した場合は失格になる。）

③競技者は招集後，最寄りの入場ゲート（招集係から案内）からスタジアムに入り，各待機場所に移動する。（招集所で指示がある）

④代理人による最終点呼は認めない。ただし、２種目以上に同時に兼ねて出場する者はあらかじめ、本人または代理人が招集時間までに招集場の競技者係に「２種目同時届」を提出する。

(4)招集完了時刻に遅れた競技者は，当該種目を棄権したものとみなして処理する。

(5)招集所は，当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。

(6)録音再生装置，カセットレコーダー，ラジオ，ＣＤ，トランシーバーや携帯電話・スマートフォンもしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことができない。

(7)競技場へは係員の誘導により入場する。

(8)競技場内では，静かに行動すること。特に，待機場所へ移動・到着後は競技進行の妨げにならないよう十分注意し，静かに待機しておくこと。

５　競技運営について〔競技運営上，競技日程を変更することもある〕

(1)走高跳・棒高跳を除くフィールド競技は３回の試技後，上位８名が残り３回の試技を行う。

(2)男女のトラックレースは学年別で100ｍの決勝は実施する。それ以外はタイムレース決勝とする。

(3)リレーのオーダー用紙は招集完了時刻１時間前までに招集所に２部提出する。オーダー用紙提出後から招集完了時刻までの間に，負傷などの特別な理由による場合のみ変更を認める。その場合，医師の診断に基づき総務の了承が必要となる。

(4)投てき競技は，サブで実施する。

(5)①リレーの競技者は，ダッシュ・マークとして１カ所自分のレーンにチョークや類似品を使わず粘着テープによって印をつけてもよい。その印は自チームの競技者が必ず取り除くこと。また，テープの色はコースに使用していない色を使用する。

②リレーのメンバーは同一のユニフォームを着用すること。

③リレーチームの編成は，所属チームのメンバーでプログラムに記載されている競技者であれば出場することができる。ただし，出場するメンバーのうち２人以上はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。

(6)短距離競走では，競技者の安全のため，フィニッシュ到着後も自分に割り当てられた走路(曲走路)を走る。

(7)競技者は，その競技をする以外は，トラック及びフィールドに立ち入ることができない。

(8)競技者に対する助力については，十分気をつけること。なお同第１１７条には，黄色カードの提示により警告，赤色カードの提示によって失格退場となる項が規定されている。

(9)不正スタートは１回で失格とする。競技規則第 162 条 5(a)(b)(c)の「動作」は不適切行為とせず，2017 年度競技規則と同様にすべて注意（競技者全員にグリーンカード）にとどめる。

(10)砲丸投は，１年男子砲丸投を設ける。重さは 4.000Kg とする。

※ただし，１年生が男子砲丸投（5.000Kg）に参加することもできる。

６　競技場への入退場について

①入退場はすべて係員の誘導によること。競技場内では指定した場所で待機すること。

②競技者は，審判員の指示に従って退場すること。

③競技場内では，静かに行動すること。特に，待機場所へ移動・到着後は競技進行の妨げにならないよう十分注意し，静かに待機すること。

７　アスリートビブスについて（アスリートビブスの大きさの規定を確認の上，大会に挑むこと）

(1)アスリートビブスは正規のものを２枚各自が準備すること。走高跳・棒高跳の出場者は胸又は背の一方につけるだけでよい。また走幅跳は胸につけるだけでもよい。

(2)トラック競技における腰ナンバー標識（カード）は各自で準備して貼り付けること。ラベルシールの腰ナンバー標識は粘着が少し弱いので，ユニフォームに貼り付けた後，安全ピンや布テープなどを用いてしっかりと４カ所、留めておくこと。（1500～3000ｍは両腰に付けること）

８　走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

種目	性別	練　習	競　技
走高跳	男子	1m35	1m40 - 1m45 - 1m50 - 1m55 - 1m60 - 1m65 - 1m70（あと３ｃｍ刻み）
	女子	1m20	1m25 - 1m30 - 1m35 - 1m40 - 1m45（あと３ｃｍ刻み）
棒高跳	男子	50cm 刻みで高さを上げ,希望の高さを２回	2m30 - 2m40 - 2m50　(3m00 まで 10cm きざみ)（あと５ｃｍ刻み）
	女子		1m60 - 1m70 - 1m80　(2m00 まで 10cm きざみ)（あと５ｃｍ刻み）

※降雨その他の条件により、審判員主任の判断で変更することがある。
※1 位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは走高跳で２cm、棒高跳では５cm 単位とする。

９　用器具について

競技に使用する用器具は，すべて主催者が用意したものを使用すること。但し棒高跳用ポールに限り，個人所有のものを使用することができる。個人所有のポールは競技開始前に現地で検査を受け合格したものに限る。

１０　表彰について

①各種目の第１位～第３位までには賞状を授与する。
②表彰式を実施するので、各種目の第３位までの入賞者は競技結果発表の後，正面受付ロビー内の表彰待機所に来ること。

１１　商標について

原則として競技場内に商社名，商品名のついた物品を持ち込むことはできない。詳細は日本陸連 HP 内の「競技会における広告および展示物に関する規程【国内】」を確認すること。

１２　引率者及び監督について

本競技会に出場するチーム・選手の引率者，監督，〈部活動指導員〉，外部指導者（コーチ），トレーナー等は，部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により，任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとしている。校長はこの点を確認して，大会申込書を作成する。なお，外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。

１３　抗議について

競技の結果または競技実施に関する抗議は抗議に関連する種目の同じラウンドで競技している競技者またはチームに限りすることができる。競技規則 146 条に従って定められた時間内に，競技者自身またはチームを公式に代表する者が審判長（本部席の担当総務員に申し出る）に対して口頭で行い，指定された控え室で待機する。

１４　　個人情報の取り扱いについて

①主催者は，個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。なお，取得した

個人情報は，記録発表，公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。

②大会の映像･写真･記事･個人記録等は，主催者及び主催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム･ポスター等の宣伝材料，テレビ・新聞･雑誌･インターネット等の媒体に掲載することがある。

③大会の映像は主催者の許可なく第三者がこれを使用すること（インターネット上において画像や動画を配信することを含む）を禁止する。

④競技者の保護者及び本人の同意のない撮影や撮影禁止エリアでの撮影は禁止とする。

※写真撮影禁止エリアは別紙参照

１５　提出用紙一覧

提　出　書　類	提　出　先	提　出　時　間
リレーオーダー用紙	競技者招集所	招集完了時刻の１時間前
欠場届	競技者招集所	招集時間までに提出
２種目同時届	競技者招集所	招集時間までに提出

※各様式は招集場へ各校が取りに行くこと。(徳島陸上競技協会 HP からもダウンロードできる)

１６　その他

(1)記録証について

記録証の交付を希望する競技者は，記録証交付願及び交付料(500 円)を添えて申し込むこと(記録証交付願は受付にて用意する)。

(2)救護・保護について

競技中の傷害については，主催者が応急手当てをする。その後の処置については，スポーツ傷害保険による。なお，当協会はこの保険への加入を義務づけているので，未加入の競技者は至急に加入手続きをすること。

(3)緊急事態発生の際には，審判長や医師の判断により，競技を中止させることがある。

(4)不明の点は本部(役員・庶務係及び専門部長)に問い合わせること。

(5)競技場は常に清潔保持につとめ，紙くず等は各自持ち帰って処理すること。また，荷物等所持品は各自が責任を持って管理し，盗難には十分注意すること。

(6)本大会のプログラムは販売しない。(審判で必要なパートへは準備します。)

(7)悪天候等の理由により，競技会が競技開始後に中止になった場合は参加料の払い戻しを行わない。

(8)競技者の意に反する写真撮影等の迷惑行為を行う者を発見した時は,速やかに本部まで連絡すること。

(9)選手・監督・競技役員以外の第二陸上競技場および雨天走路への入場は禁止とする。

(10) 補助員や競技協力員の受付は８時３０分から正面玄関で行う。できるだけ早く受付を済ませる。また男女円盤投げに出場するチームの代表の方は、８時３０分にサブトラックの B ピットに集合し、円盤ゲージ設営の手伝いを行うこと。同じように、男女棒高跳に出場するチームの代表の方は、８時３０分にメイン競技場 B ピットに集合し、棒高跳マット設営の手伝いを行うこと。

(11) 今大会各種目上位者とランキング上位者から、2026 年度四国ブロック中学生冬季強化合宿（徳島県開催）へ参加者を選抜する。